

## 問題【国語】

下の魚への漢字の読みを答えましょう。

- (1) 鯖 (2) 鮭 (3) 鰹 (4) 鰻 (5) 鱈  
(6) 鮠 (7) 鰈 (8) 鮎 (9) 鯨 (10) 鮠

## 豆知識 雑学コラム

### 「魚」+大きな桁「京」

日本は海に囲まれ、海のない地域でも川が近くにあり、魚は日本人にとって身近な存在でした。そのため「鯖を読む(数字をごまかすこと)」のように魚を使った慣用句があったり、「イナダ」「ハマチ」「ブリ」のように大きさによって名称が変わる出世魚があったりと、魚についての表現は日本語の特徴をみる上で大切な要素だと言えます。当然、魚の名前も日本語に多くあり、その魚ごとに漢字があてられています。魚の名前を表す魚への漢字と聞くと、すし店の湯飲みにいっぱい書いてある漢字を連想する人も多いと思います。今回はそんな魚への漢字を見ていきましょう。

「鮠」は「平らな魚」ということで「ヒラメ」です。ちなみにヒラメと見た目が似ているカレイは「葉っぱのような魚」ということで「鰈」と書きます。「鮠」も「鰈」も見た目そのままの漢字で連想しやすく覚えやすいですね。

次に「鮎」は「アユ」ですね。岐阜県の「県の魚」に指定されていることもあり、「読み」を知っている方も多いと思います。しかし「ヒラメ」と違い、なぜ「アユ」に「占」が使われているのかはイメージしづらいと思います。一つには「日本書紀」の中にある神功皇后がアユを使って占いをしたという逸話から、「占いに使った魚」という意味で「鮎」になったという説があります。また、別の説として、アユは縄張り意識が強く、自分の縄張りである岩場に他のアユが入ってくると追い払おうとする生態から、「川の岩場を占領している魚」という意味で「鮎」となったという説もあります。ちなみに中国では「川底を占領している魚」という意味からナマズのことを「鮎」と書くそうです。

最後に「鯨」は「クジラ」です。まず、「京」はとても大きいことを表す漢字です。「一、十、百、千、万、億、兆」の次に大きな数字の桁を「1京(1000兆の10倍)」で表すのもこの意味があるからです。また、なぜ、哺乳類なのに魚へんなのかというと、「鮠(シャチ)」や「鮑(アワビ)」といった例をみるとわかるように、「魚」は魚類だけではなく「水の中で暮らす生き物」を指すこともあるからです。つまり、「とても大きな水の生き物」で「鯨」という字が出来上がっています。一方で、「水の中で暮らす生き物」が全て魚へんというわけではなく、「蛸(タコ)」や「蛙(カエル)」と虫へんで書くものもあります。注意しましょう。

さて、今回は魚へんで様々な生き物の漢字ができていたことをみてきました。魚へんにいろいろなものをくっつけるといろいろなことが表現できる気がしませんか。実際、落語家の洒落で「魚へんに二重丸(◎)」で「ちくわ」という創作の文字もあります。このように皆さんも新しい魚への漢字を作ってみてはどうでしょうか。

## 【解答】

± 4 6 (01) ㄥ ㄥ ㄥ (6)

ㄥ ㄥ (8) ㄥ ㄥ ㄥ (2) × ㄥ ㄥ (9) ㄥ ㄥ (9)

ㄥ ㄥ ㄥ (7) ㄥ ㄥ ㄥ (8) ㄥ ㄥ (2) ㄥ ㄥ (1)